

会 議 録

会 議 名 称	令和2年度 加古川市労政審議会
開 催 日 時	令和2年8月26日（水） 午前10時00分から午前11時20分まで
開 催 場 所	加古川市立勤労会館 3階 301会議室
出 席 委 員	山口 光一会長、土方 直子副会長、河合 豪史委員、溝上 清隆委員、 鳴川 秀昭委員、高浜 佳司委員、中尾 るみ子委員、山本 亜也夫委員、 中川 誠貴委員、原口 智章委員
傍 聴 人	なし
会 議 次 第	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 産業経済部長あいさつ 4 委員紹介 5 会長及び副会長の選出について 6 議事 (1) 諮問事項 ウィズコロナ時代におけるインターンシップ支援事業のあり方 について (2) 報告事項 ①令和元年度労働政策実績報告について ②加古川地域労働市場について（加古川公共職業安定所より） ③勤労会館利用状況について 7 その他 8 閉 会

審議内容	
1 開会	
2 委嘱状の交付	
3 産業経済部長 あいさつ	小野産業経済部長あいさつ
4 委員紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員紹介 ・事務局自己紹介 ・司会より会議の成立報告
5 会長及び副会長 の選出について	委員の互選により、会長に山口委員、副会長に土方委員を選出

<p>6 議事</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p>	<p>(1) 諮問事項</p> <p>ウィズコロナ時代におけるインターンシップ支援事業のあり方について</p> <p>学生の多くはオンラインの就職説明会に参加しており、オンラインでの参加に抵抗はないようである。学生と企業をマッチングするインターンシップマッチングフェアのようなイベントについては、学生も参加しやすいため、今後もオンラインで実施してもよいと思う。</p> <p>しかしながら、インターンシップについては対面で実施することが望ましい。</p> <p>受け入れ企業の Web の環境がどの程度整備されているかにもよる。</p> <p>インターンシップをオンラインで実施するとなれば、担当者がはりつく必要があるので実施は困難である。</p> <p>インターンシップマッチングフェア等、学生に企業の情報を伝えるだけなら、オンラインでの実施は可能であるが、インターンシップをオンラインで実施するのは難しい。</p> <p>インターンシップに参加される学生が「単に職場を見たいだけ」というスタンスであれば難しいが、オンラインでもこんなことをしたいという具体的な要望があれば対応できると思う。</p> <p>企業を知ってもらっただけならオンラインでも発信はできるが、実際の就業体験はオンラインでは難しい。</p> <p>各委員の職場ではオンライン会議を導入されているか？</p> <p>労働組合でもオンライン会議を行っている。しかし、参加者が大勢になると仕切り役がいないと難しい場合がある。</p> <p>発言のタイミングが難しいときがある。</p> <p>ちなみに、今年度のインターンシップマッチングフェアはオンラインで開催するとのことだが、どのように周知する予定か。</p> <p>インターンシップマッチングフェアについては、広報かこがわなどの広報誌や、各大学へのチラシ配布を行う予定である。</p>
--	--

(委員)	各企業はどのように参加するのか。
(事務局)	事前にオンライン上の配信時間を割り振り、その時間に自社から配信を行う形である。オンライン説明会では学生がブースに来たときだけ対応すればよい。学生が来ない場合、企業は仕事をするなど対面式の説明会と比べて時間を有効活用できるというメリットがある。
(委員)	<p>インターンシップに関しては、最近、文部科学省などから就業体験を伴わないプログラムを1日インターンシップと称して行わないよう要請があったと思う。また、平日は学生も授業があるため、土日など週末を利用して参加できるインターンがあればよい。</p> <p>このたびの新型コロナのように突然、インターンシップに参加できなくなることもあるので、いざというときにオンラインに切り替えることができるよう、各企業に対し、オンラインでインターンシップを実施するためのノウハウを紹介できればよいのではないか。</p>
(事務局)	インターンシップマッチングフェアに参加する学生が、就業体験を伴わない1日だけのプログラムをインターンシップと誤解しないよう表現を検討したい。しかしながら、市としては1日だけの説明会であっても、学生に企業を知ってもらい、就職につながるのであればインターンシップではなくとも価値があると考えている。
(事務局)	インターンシップ支援事業については、もともと市内の中小企業支援を目的としている。1日だけのプログラムではインターンシップと呼べないかもしれないが、中小企業にとっては5日間、学生を受け入れるとなれば時間と手間がかかるため、負担にならないようにはしたいと考えている。
(委員)	今後、インターンシップマッチングフェアに参加した学生だけでなく、企業に対してもアンケートをとり、意見を聞く方がよい。
<p>(2) 報告事項</p> <p>①令和元年度労働政策実績報告について</p> <p>下記の事業について事務局より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 加古川市労働相談実施状況 イ 雇用促進・就職支援事業 <ul style="list-style-type: none"> (ア) ジョブフェア（合同企業面接会） (イ) インターンシップ支援事業 (ウ) 奨学金返還支援事業 	

	<p>(エ) 移住支援金事業 ウ 勤労者住宅資金融資制度</p>
(委員)	移住支援金の支給実績は？
(事務局)	令和元年度は0件である。兵庫県内でも0件であったと聞いている。
(委員)	移住支援事業の支給対象となるには、東京圏に5年以上在住・在勤していたことが要件となるのか？
(事務局)	そのとおりである。4年であれば、大学を卒業し地元に戻ってくる若者が対象になるが、そのような要件にはなっていない。
(委員)	奨学金返還支援補助金の件数が大きく増加していることはよいことだが、どのような取り組みを行ったのか？
(事務局)	制度の周知に力を入れた。広報かこがわ以外にも制度の周知を依頼した。特に新聞記事にも掲載をしたが、記事をご覧になった保護者の方を通じて、制度を知った方が多かった。
(委員)	奨学金返還支援補助金と移住支援金をセットにして周知していけば、効果があるのではないか。
(委員)	<p>②加古川地域労働市場について（加古川公共職業安定所より）</p> <p>令和2年6月の加古川公共職業安定所管内の有効求人倍率は0.7となっている。新型コロナウイルスの影響により求人数が減少しているが、その前から減少傾向にあった。</p> <p>職種によるミスマッチがあり、求人に対して、運輸・介護・看護・建設などは求職者が少なく、事務職は多いという状況になっている。有効求人倍率は0.36となったリーマンショックのときと比べると、数値的には危機的な状況にはなっていないが、加古川公共職業安定所としては転職をすすめ、採用につなげていきたい。</p> <p>一方、雇用調整助成金については、令和元年度は1ケタの申請であったが、令和2年3月以降はすでに約1,500件の申請があり、約1,200件の支給決定を行っており、リーマンショック時を上回る勢いである。以前は、支給までに約2ヵ月かかっていたが、国から2週間以内に支給するよう示されており、できる限り早く処理している。ただし、大企業については助成金デスクに申請していただくことになっており、従業者数が多いため、審査に時間がかかることがある。</p>

<p>7 その他</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p>	<p>このほか、令和2年度については就職面接会の実施が難しいので、ミニ面接会など、ソーシャルディスタンスを確保しつつ、企業の思いに答えていきたい。</p> <p>③勤労会館利用状況について 質疑なし</p> <p>今年度の就職活動の状況を聞くと、4月～5月はオンライン面接、6月に対面での面接が多い。最初から最終面接まですべてオンライン面接で実施される企業もあった。今後、就職活動におけるオンライン面接の導入をどのように考えていらっしゃるのか伺いたい。</p> <p>私の会社ではオンライン面接を実施していない。もともと、3～4人を面接することがなく1対1での面接となるため、オンライン面接をする状況でもない。</p> <p>最終面接は対面が望ましい。</p> <p>現在、私の会社ではオンライン面接を行っていないが、学生が気軽に受験してくれるということであれば、企業側も導入を検討していく必要がある。ただ、オンライン面接のみで採用するのは難しい。</p> <p>私の会社でもオンライン面接は行っていないが、本日の皆さんのお話を聞いて、学生がオンライン面接を希望しているのであれば、あわせていけないいけないと思った。しかしながら、最終的には、一度は直接会って面接はしたい。</p> <p>オンライン面接は実施したことがないが、ぜひやってみたい。</p> <p>学生はどう思っているのか？</p> <p>一次面接はオンライン面接の方が楽である。しかし、ほとんど学生は会って面接をしたいと考えている。</p> <p>近年は大学の進学率が高くなっているが、高卒の採用予定は？</p> <p>私の会社では紹介で採用することが多く、積極的に高卒を採用している訳ではない。</p>
--	---

(委員)	私の会社では定期採用はしていない。過去には高卒を採用したこともある。
(委員)	正規職員については大卒を採用している。過去に高卒の人を採用していたが続かなかったため、高校からの要望はあるが最近は採用していない。
(委員)	近年は高卒の採用はしていない。福利厚生面では大企業に太刀打ちできないため、高校に求人票の提出すらしていない。
8 閉 会	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より加古川市のふるさと納税について紹介
	土方副会長あいさつ